

R1

アクションプラン全体計画（平成28～令和2年度）

推進項目	82 公共施設の適正配置・多用途化の推進					重要度	A	
番号・取組事業名	82001	フレイル予防事業の充実			作成日	H31.4.1	更新日	R2.3.31
担当部署	061400	保健福祉部 地域包括支援課			責任者	宮島 浩二	担当者	地域ケア推進担当
取組年度	H28	～	R2					
効果	その他改善							
最終目標	<p>介護保険法の改正により、介護予防・日常生活支援総合事業が位置づけられたため、フレイル予防事業の拡充を図る。フレイル予防事業の拠点となる市直営の介護予防センター「ほのぼのプラザますお」及び介護予防事業を委託している「いきいきプラザ」や市内9ヶ所の「地域包括支援センター」と連携し、フレイル予防事業の強化及び地域展開を図るとともに、最終目標として、要介護認定者数の抑制、介護保険給付費の削減を目指す。</p> <p>※フレイル予防：フレイル状態とは、健常な状態と要介護状態の中間の虚弱の状態。多くの方はフレイル状態を経て要介護状態に移行するとされており、フレイル状態を早期発見、早期解決することで要介護状態への移行を減らすことができるとされている。</p>							
年度	区分	取組内容・目標						
平成28年度	計画どおり	関係機関と連携し、市民ぐるみで「フレイル予防プロジェクト2025」を進めている。2ヶ所の介護予防センターが拠点となって、養成した人材の派遣やフレイル予防プログラムの提供等を通して、地域における市民主体のフレイル予防の取組みを支援した。						
平成29年度	計画どおり	フレイル予防事業の拠点である介護予防センターの機能強化のため、地域団体との信頼関係が構築されている柏市社会福祉協議会へ委託する事務を完了した。フレイル予防事業の利用者は計画値に達しなかったが、次年度へ向け、地域団体へのフレイル予防活動の支援を行う体制を作ることができた。						
平成30年度	計画どおり	介護予防センター主催講座の参加者数は昨年度並みであったが、介護予防センター講座受講者による自主グループの立ち上げなど、市民主体のフレイル予防活動が一層推進されつつあることを認識した。						
令和元年度	実施	2ヶ所の介護予防センターが拠点となって、養成した人材の派遣やフレイル予防プログラムの提供等を通して、地域における市民主体のフレイル予防の取組みを支援する。						
令和2年度	完了	2ヶ所の介護予防センターが拠点となって、養成した人材の派遣やフレイル予防プログラムの提供等を通して、地域における市民主体のフレイル予防の取組みを支援する。						
成果指標	指標名	フレイル予防事業の利用者					単位	人
	年度	平成27年度 当初予算(基準)	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	最終値
	当初計画値	4,500	5,500	6,500	7,000	7,500	8,000	8,000
	変更計画値							
実績値	5,829		5,531	6,661	6,502	0		
効果額	歳入増加	当初計画額						0
		変更計画額						0
		実績額						0
	歳出削減	当初計画額						0
		変更計画額						0
		実績額						0
	計	当初計画額	0	0	0	0	0	0
		変更計画額	0	0	0	0	0	0
		実績額	0	0	0	0	0	0
	見込まれる その他効果 (金額以外)		ほのぼのプラザますお及びいきいきプラザにおける新規フレイル予防事業の展開、大学連携事業展開	ほのぼのプラザますお、及びいきいきプラザを拠点にフレイル予防事業を展開し、地域への事業展開の実施	ほのぼのプラザますお、及びいきいきプラザを拠点にフレイル予防事業を展開し、地域への事業展開の実施	ほのぼのプラザますお、及びいきいきプラザを拠点にフレイル予防事業を展開し、地域への事業展開の実施	ほのぼのプラザますお、及びいきいきプラザを拠点にフレイル予防事業を展開し、地域への事業展開の実施	

R1

アクションプラン(令和元年度)

推進項目	82 公共施設の適正配置・多用途化の推進				重要度	A
番号・取組事業名	82001	フレイル予防事業の充実	作成日	H31.4.1	更新日	R2.3.31
担当部署	061400	保健福祉部 地域包括支援課	責任者	宮島 浩二	担当者	地域ケア推進担当
	区分	取組内容・目標				
令和元年度	実施	2ヶ所の介護予防センターが拠点となって、養成した人材の派遣やフレイル予防プログラムの提供等を通して、地域における市民主体のフレイル予防の取組みを支援する。				
取組項目			4～6月	7～9月	10～12月	1～3月
1	2ヶ所の介護予防センターにおけるフレイル予防事業等の実施		○	○	○	○
2	介護予防センターによる大圏域ごとの出張フレイル予防講座の実施		○	○	○	○
3	フレイルチェックのリピーター数向上のため、地域サロン等への働きかけを実施		○	○	○	○
4	各種フレイル予防事業参加者の自主グループ化の働きかけを実施		○	○	○	○
5						
6						
7						
8						
9						
10						
進捗						
上半期	進捗状況	計画どおり	コメント	介護予防センターにおける出張講座は定期的に行っている。次年度は地域診断や他の資源の状況を鑑みながら、より戦略的に実施出来るよう計画を策定する予定。 フレイルチェックのサロンへの働きかけはひととおり行い、上半期でのリピーター率が43%まで上昇した(昨年度1年間で26%)。ロコモフィットかしわでは自主グループ化へ向けた働きかけを強化しており、前期の報告では大部分の会場で自主化の機運が高まっているとの報告があった。		
進捗・実績						
年度末	成果指標名	フレイル予防事業の利用者		計画値	単位 人 7,500	実績値 6,502
	達成状況【成果】	一部達成	コメント	介護予防センターにおける出張講座では、新規参加者を獲得することができた。次年度も地域包括支援センターの事業等と連携しながら実施する。 フレイルチェックは3月にリピーターサロンの実施が予定されていたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となり、今年度の最終的な延べ参加者数は1,050人、リピーター率は39.8%だった。		
	進捗状況【活動】	計画どおり		ロコモフィットかしわでは前期で8グループの自主グループが立ち上がった。後期については、新型コロナウイルス感染拡大防止のため教室は終了したが、参加者へ電話による個別指導を行った。		
	計画変更(次年度以後)	取組内容	有	コメント	次年度より、新たに「かしわフレイル予防ポイント制度」を実施し、庁内関係部課との連携による、高齢者の健康づくりや社会参加を促進する。 初年度の登録者の目標は10000人としており、さらに、登録者の活動状況も詳細に把握できるため、より一層のフレイル予防の取組みが推進されると思われる。	
計画値		有				
評価	評価者	鬼沢 徹雄	※重要度A事業は副市長、重要度B事業は部局長を評価者とする			
	総合評価(A・B・C)	B	コメント 指示事項	新たに導入した「かしわフレイル予防ポイント制度」を有効に活用して、フレイル予防の充実、強化を図りたい。		
	方向性	取組み強化				